

公益財団法人ひろしまドナーバンク 平成28年度事業実施報告書

(平成29年 3月31日現在)

本年度は、従来の活動を踏襲しながら、運営並びに活動に取り組み、また、財政基盤の充実を図るため「ドナーバンク支援自販機」の設置拡大を医療関係施設に限らず、企業に対しCSR活動への取り組みとして協力をお願いする活動を行った。本年度新たに7台を追加増減あわせて設置台数が27台となった。

献眼に関しては、ライオンズクラブの強力な支援もあり前年度に比べると広島県における献眼数は27名と増加したが、全国的には減少状況にある。昨年度に続き「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を東西地域において2回開催するほか、出前講座による献眼推進運動への更なる協力と理解を深める活動を行った。また、本年2月には、4年ごとの開催する「第7回献眼・献腎合同慰霊式」を開催し、ご遺族、移植者等160名のご参列を頂いた。

また、骨髄ドナー登録者においては、全国的に前年度より上回り、広島県においても登録者が増加している状況にある。昨年同様、学生ボランティアの協力のもと、固定施設での登録会の開催に取り組んだことにより、ドナー登録者の確保と、一般県民への理解と協力を得る活動となっている。

献腎を含めた臓器提供に関しては、全国的には増加傾向にあるものの中四国地方においてはその傾向は見られず、広島県における臓器提供は1件となっている。普及啓発として、地域の健康まつりに参加しブースの設置を行うほか、高等学校、専門学校等への出前講座を積極的に開催した。そのほか移植医療教育のシステムを構築するため、医療系大学、看護学校等の講義に組み込んでもらうための活動を行った。同時に、広島県看護協会の協力を得て、一般看護職に対する研修プログラムとして、移植医療をテーマとした内容の研修会を次年度から新設することが決まっている。

I. 管理部門

特別な寄附を頂戴するほか、従来同様ライオンズクラブ等の支援団体などからの寄附金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱、「ドナーバンク支援自販機」からの浄財により事業に取り組んだ。その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

1. 一般寄付金

8,943,805円

ライオンズクラブ国際協会 336-c 地区	3,000,000
バンク支援自販機	3,322,193
中国電力労働組合	1,000,000
浅原利正	500,000
医療法人社団仁慈会安田病院	130,000
三嶋弘	100,000
医療法人仁光会日谷眼科	100,000
医療法人辰川会	80,000
一般社団法人広島市医師会	77,500
重河康弘	70,000
医療法人社団稲垣胃腸科外科クリニック	50,000
社会医療法人千秋会井野口病院	50,000
尾鍋外科病院	50,000
医療法人みなみ会星野外科クリニック	30,000
株式会社立芝	30,000
サノフィ株式会社	30,000
帝人ファーマ株式会社	30,000
日本イーライリリー株式会社	30,000
広島フェニックスライオンズクラブ	20,000
庄原赤十字病院	20,000
中外製薬株式会社	20,000
C S L ベーリング株式会社	20,000
広銀ボランティア口座 39 件	18,732
ノバルティスファーマ株式会社	12,000
竹鶴寿夫	10,380
済生会呉病院	10,000
山本薬品株式会社	10,000
大塚器械株式会社	10,000
医療法人社団光仁会フェニックスクリニック	10,000
匿名希望	10,000
国家公務員共済組合連合会吉島病院	10,000
茶谷信子	10,000
因島医師会病院	10,000

株式会社ツムラ	10,000
広島和光株式会社	10,000
株式会社ヤクルト本社	10,000
広島県厚生農業協同組合連合会尾道総合病院	10,000
科研製薬株式会社	10,000
藤村裕志	5,000
荒井圭子	4,000
森脇喜美子	3,000
笠城陽	1,000

○ドナーバンク支援自販機による寄附金 3,322,193円

設 置 場 所	台 数	金 額
広島大学病院敷地内 (広仁会館・喫煙所前・霞体育館・中央診療棟・管理棟)	5台	1,563,924
中国労災病院	1台	384,068
★木村眼科内科病院 (1階ロビー、4階ロビー)	2台	295,053
広島市立安佐市民病院 *9月設置	2台	273,254
三次中央病院 (救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横)	3台	175,078
安田病院	1台	144,463
メリィホスピタル新築工事現場 *10月設置	1台	113,496
株式会社ニシキタクシー	1台	112,248
二階堂眼科	1台	85,976
広島市医師会 *7月設置	1台	62,538
広島県医師会館	1台	25,175
荒木脳神経外科病院	1台	22,816
★つまもと眼科	1台	20,294
松村循環器外科	1台	18,141
安佐医師会館	1台	8,431
JA 広島総合病院	1台	8,070
ペットショップ高山 *9月で契約終了	0台	6,500
戸田工業(株)大竹事業所 *3月設置	3台	2,668
合 計	27台	3,322,193

注) ★印はアイバンク仕様の自販機、それ以外の自販機は臓器用のネットワーク仕様のもの

2. 募金箱 (34施設)

826,278円

施設名	金額	施設名	金額
おち眼科医院	50,586	藤原眼科	20,033
高山眼科	46,106	山代眼科医院	19,355
藤武眼科	44,987	つるが眼科	18,879
井之川眼科医院	43,383	奈良井眼科	17,215
石田眼科医院	42,471	竹田眼科医院	17,090
しみず眼科医院	41,696	古吉眼科医院	15,540
かたぎり眼科	34,091	木村眼科内科病院	14,917
土谷総合病院	33,943	海田市薬局・岸本眼科	14,830
五日市中野眼科医院	33,884	小島病院	13,315
眼科日山医院	33,530	本郷中央病院	13,294
高陽ニュータウン病院	33,038	加藤眼科	13,020
阿品土谷病院	32,270	平田眼科(熊野)	11,117
井上眼科医院	30,283	二階堂眼科	9,441
ひとみ眼科	29,801	鈴木薬局可部南店	7,084
みはら眼科	27,797	ゆあさ眼科	6,241
八本松病院眼科	24,961	森眼科	5,065
伊達眼科医院	23,311	尾道クリニック	3,704

3. 賛助会員 2,899,000円

法人会員 163口 (1,630,000円)

個人会員 423口 (1,269,000円)

II. 事業部門

1. 献眼移植のあっせん事業

1) 角膜提供者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第1号)

①例年同様、献眼についての啓発・普及用のポスターを購入或いは作成し、広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

◎献眼ポスター 300部購入(日本アイバンク協会より)

◎献眼パンフレット 27年度作成分に対応

◎献眼登録申込書 20,000部作成

②各地のライオンズクラブが実施する献眼推進運動にパネル、幟の貸し出しなどを行った。

◎パネル利用状況 角膜 10回 腎臓 2回

呉ブルーLC(4/18～21)、呉うるめLC(4/28～5/1)、三次LC(8/19～22)
目の健康講座(9/11)、三良坂LC(9/23～26)、竹原LC(9/23～26)、
福山新市LC(10/7～13)、三原浮城LC(10/25～29)、
東広島腎友会(11/2～7)、尾道健康まつり(11/11～14)、
呉安浦LC(11/25～28)、福山新市LC(12/9～12)

◎のぼり利用状況 10回

廿日市LC(4/1～4)、呉ブルーLC(4/18～21)、呉うるめLC(4/28～5/1)、
山県加計LC(6/2～6)、三次LC(8/19～22)、庄原LC(8/26～29)、
三次LC(10/7～11)、福山新市LC(10/7～13)、呉浦安LC(11/25～28)、
福山新市LC(12/9～12)、

③ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を東部、西部の2回開催した。

ア 日本アイバンク協会認定サポーター講習会(西部)

日時：平成28年10月13日(木)午後2時～

場所：広仁会館 2階 大会議室

出席者：受講者69名+役員

イ 日本アイバンク協会認定サポーター講習会(東部)

日時：平成28年11月17日(木)午後2時～

場所：備後地域地場産業振興センター

出席者：受講者59名+役員

④広島県眼科医会主催の「目の健康講座」に参加し、パネル展を開催し、スライドを使用して献眼についての情報提供を行うほか、日本アイバンク協会普及啓発DVDを上映し啓発に努めた。

「目の健康講座」(9/11)

⑤出前講座により、献眼・角膜移植に関する普及啓発を行った。5回

広島フェニックスLC(4/25)、キャビネット研修会(6/16)、

広島中央LC(9/2)、安田病院研修会(9/7)、広島五日市LC(9/13)、

2) 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業 (定款第4条第2号)

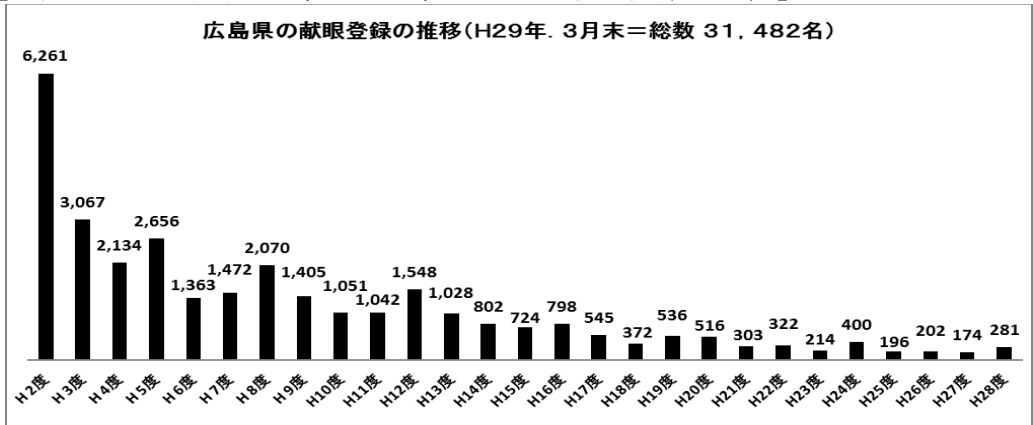
角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、角膜の障害による患者からの募集登録を行った。本年度も登録及び管理業務は直接バンクが担当した。

また、ライオンズクラブ等が実施した献眼推進運動により送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録カード」を送付した。平成28年度の新規登録者は、476名であるものの、死亡・取消などにより、実質281名増となった。

広島県の献眼登録者 (3月末) 31,482名 (281名増)

前年度末登録者数	31,201名
新規登録者数	476名
献眼者数	27名
取消数(転出・死亡等)	168名
3月末登録者数	31,482名

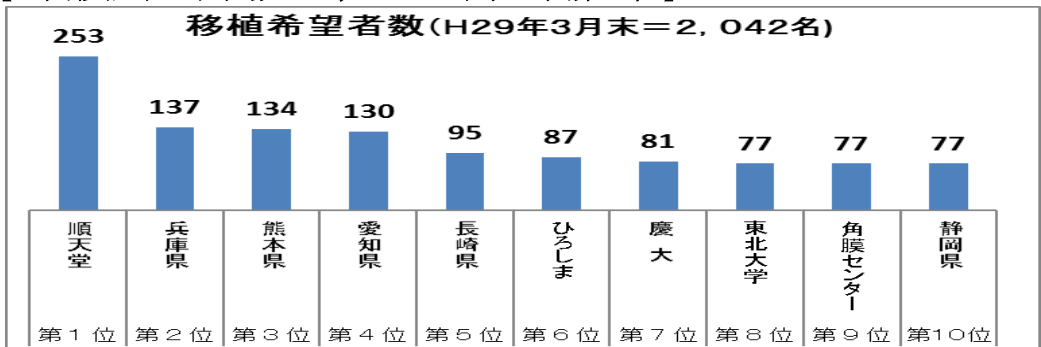
【全国献眼登録総数=1,245,422名、全国第12位】



広島県の角膜移植希望者 (3月末) 87名 (13名増)

前年度末手術希望者数	74名 (74眼)
新規手術希望者数	65名 (65眼)
移植角膜数	51名 (51眼)
希望取消数	1名 (1眼)
3月末手術希望者数累計	87名 (87眼)

【全国移植希望者総数=2,042名、全国第6位】



3) 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業 (定款第4条第4号)

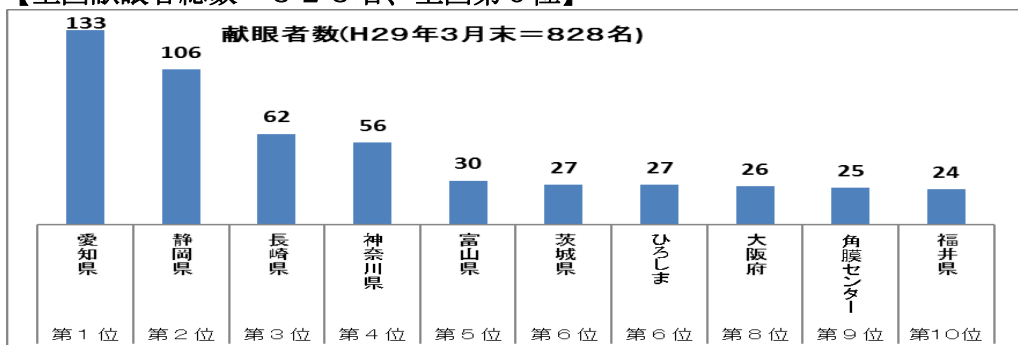
3月末現在までにご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼を含み県内2施設にあっせんした。

- ① 献眼数 27名 53眼 (保存眼等7眼)
- ② あっせん数 53眼 (前年度保存眼7眼、県外2眼)
- ③ あっせん先 ア 県内 (51) ; 広島大学病院 (34)
木村眼科内科病院 (17)
イ 県外 (2) ; 愛媛 (1)、大阪 (1)

◆全国及び中四国地方の献眼状況】

献眼者数	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 実績	平成28年度 実績
全 国	927	880	846	828
鳥 取 県	1	1	0	4
島 根 県	9	5	7	4
岡 山 県	3	1	6	10
広 島 県	19	16	24	27
山 口 県	20	16	28	20
徳 島 県	3	3	0	2
香 川 県	1	3	1	2
愛 媛 県	3	9	4	4
高 知 県	4	2	2	2

【全国献眼者総数=828名、全国第6位】



4) 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対して、ご葬儀等の席上などでホストライオンズクラブを通じて感謝状の贈呈を行い、敬意を表するとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、同様の方法により厚生労働大臣感謝状に供物を添えて遺族に伝達した。

- ① 献眼者 27名 (厚労大臣感謝状伝達24名、1名辞退)
- ② 献腎者(脳死提供含む) 1名 (厚労大臣感謝状伝達 1名)

2. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

1) 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

①一般県民に対する普及啓発活動

ア パネル等啓発グッズの貸し出し等、広島県臓器移植コーディネーターが地域の健康祭り等にパネル等啓発グッズの貸出しとともに、自ら出向き臓器提供・移植に関する啓発活動に従事した。 7回

海田町福祉健康まつり(10/1)、府中市市民健康&福祉まつり(10/3)、三原市民健康福祉まつり(10/29)、安佐市民病院健康まつり(10/29)、東広島生涯学習フェスティバル(11/6)、おのみち市民健康まつり(11/13)、熊野町健康まつり(2/26)

イ 出前講座により、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供・移植に関する説明を行い移植医療の普及啓発を行った。12回

千代田高等学校(4/12)、広島市医師会看護学校(6/24)、並木学園福山高等学校(7/11)、加計高等学校芸北分校(9/13)、尾道医師会看護学校(11/30)、進徳女子高等学校(1/13)、呉共済看護専門学校(1/30)、広島文化学園大学(2/2)、尾道北高等学校(2/10)、豊浜中学校(2/13)、広島県立三次看護専門学校(2/20)、皆実高等学校(3/2)

ウ 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した

i 「臓器移植対策推進功労者」(厚生労働大臣)

○保久 早苗 ひろしまドナーバンク 献眼推進委員
(東広島ウエストライオンズクラブ)

ii 「臓器移植推進功労者」(広島県知事)

○白根 雅子 広島県眼科医会会長(バンク 献眼推進委員)

エ 「ひろしま国際平和マラソン」に移植医療をデザインとしたTシャツを着用し、ドナー、レシピエントが参加し、完走することにより、移植医療の普及啓発活動を行った。また、主催者の協力のもとブースを設置し、パンフレット等の啓発グッズを配布するほか、移植に関する簡単なグリーンリボン検定を実施し、カープ球団の協力で作成したオリジナルピンバッチを配布した。

○日 時:平成28年11月3日(火・祝) コカコーラウエストスタジアム

○企画名:ひろしまグリーンリボンマラソン 2016

オ その他の啓発活動

- i 献眼及び臓器提供・移植に関するドナーバンク支援自販機を積極的に設置して頂くことにより、ポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行っているが、本年設置台数は、新たに「広島市医師会」へ1台、「安佐市民病院内」へ2台、「メリィハウス新館建設現場」へ1台、「戸田工業」へ3台設置していただき、現在27台の設置となった。
- ii 日本骨髄バンクのFacebookを利用し、山陽女子短期大学での骨髄ドナー登録会の様子を配信した。

②啓発用のポスター及びパンフレット等の作成及び配布

公社) 日本臓器移植ネットワーク並びに公財) 日本骨髄バンクから提供を受けたポスター、パンフレット等の配布や、グリーンリボンキャンペーン月間(10月)に広島県タクシー協会の協力を得て、県内タクシー計5,489台に意思表示を啓発するステッカーを貼付いただいた。

- ア 「臓器提供意思表示カード」の配布 870部
- イ 「グリーンリボンドライバーステッカー」の配布 5,600枚
- ウ 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布するほか、一部手製の献眼並びに骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ資料を作成し提供した。

③普及啓発行事の開催・参加

10月の骨髄バンク普及推進月間行事では、ボランティア団体との連携の中で、移植医療の推進に係る活動を展開した。

ア 例年同様、広島県及び広島市などとともに、本年度は「イオンモール広島祇園」の協力のもと「骨髄パネル展」を開催し、最終日には骨髄ドナー登録会を実施した。

○とき：平成28年10月24日(月)～10月30日(日)

○ところ：イオンモール広島祇園 2階 イオン前スペース

○内容：パネル展、ボランティアおよびスライリーによる風船及びチラシを挟んだティッシュの配布、集団登録会(新規登録者19名)

2) 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業 (定款第4条第7号)

本事業のうち、特に造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学」などのボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

① 説明員養成研修会を開催し、広島国際大学しずくから新たに24名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (5/19) イ 実地研修会 (適宜)

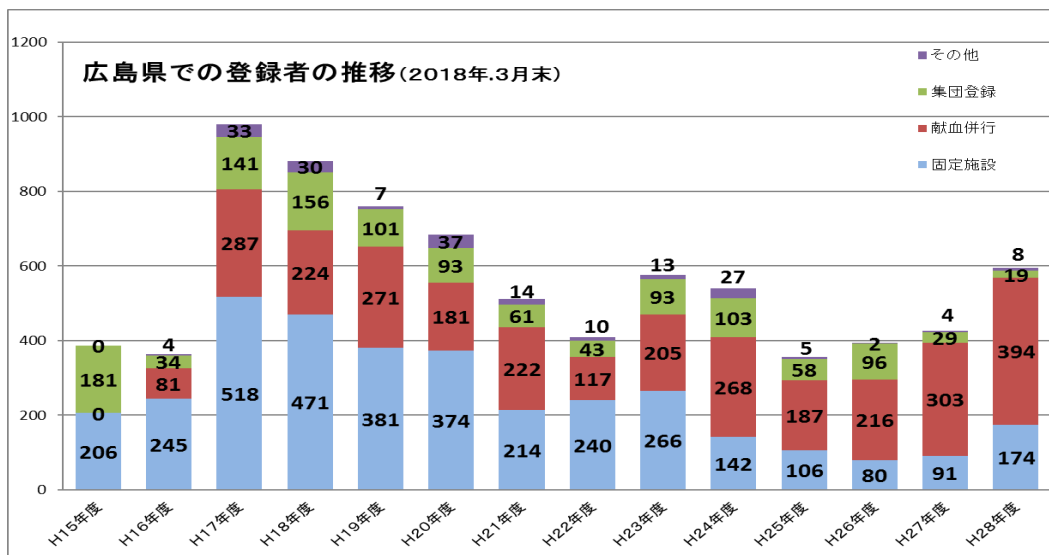
② 説明員養成研修会を開催し、山陽女子短期大学から新たに10名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会 (5/12) イ 実地研修会 (適宜)

③ 骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

公財) 日本骨髄バンク等が主体として、実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、骨髄ドナー登録会を開催した。

登 録 会		昨年度	本年度
事前説明会	回数	1回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	3回	1回
	登録者	29名	19名
献血併行型登録会	回数	32回	44回
	登録者	303名	394名
合 計	回数	36回	45回
	登録者	332名	413名



④ 骨髄提供・移植に関する普及啓発活動を行った。

ア 出前講座の実施

○山陽女子短期大学 (5/12) ○広島国際大学 (5/19)

○比治山大学 (6/22)

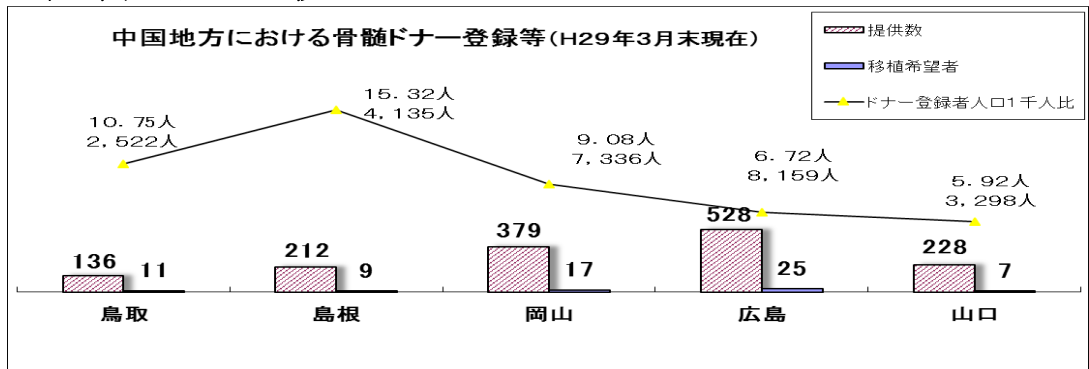
◆骨髄ドナー登録者（平成29年3月末現在）

新規登録者394名

区分	全 国	広 島 県	
		実 数	人口1万対比
ドナー登録者数	470,270 (82.9)	8,159 (全国第18位)	67.2 (全国第31位)
患者登録者数	3,483 (国内1,421)	25 (全国第17位)	
骨髄移植者数 (財団発足後累計)	20,547 (国内20,285)	597 (全国第10位)	
骨髄提供者数 (財団発足後累計)	20,555 (国内20,368)	528 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

◆中四国地方との比較



3. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

1) 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業
(定款第4条第7号)

ア 献腎及び多臓器移植の推進

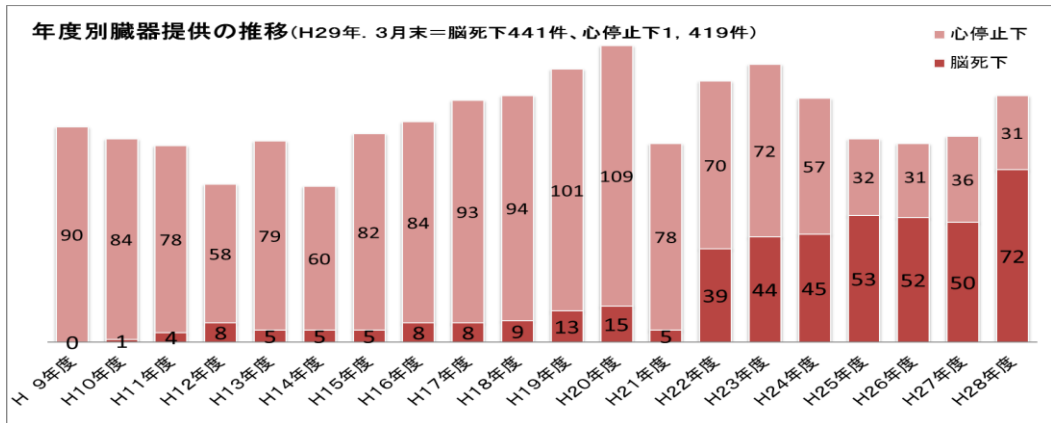
一般県民の臓器移植に関わる意識の醸成と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら臓器移植推進に取り組んだ。

特に、JA尾道総合病院にて院内体制整備を図るためのマニュアル作成に向けての必要な対応に従事した。

◆献腎登録者 9,045名 (31名減)

前年度末登録者数	9,076名
新規登録者数	1名
献腎者数	1名
取消数(転出・死亡等)	31名
3月末登録者数	9,045名

◆全国の心停止下・脳死下臓器提供の推移 (平成29年3月末)



*日本臓器移植ネットワークからの報告

◆中四国の各県別腎臓提供者数と腎移植者数と腎臓移植希望登録者数

(平成29年3月末)

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	中四国全体 (H29.3.31現在)
腎臓移植希望者	30	42	214	280	113	89	140	112	57	1,077
平成28年度	提供者数	1	1	1	1	0	1	0	1	7
	移植数	2	0	2	5	1	0	3	1	15
累計 (H9～H28)	提供者数	6	4	28	47	14	26	20	15	176
	移植数	12	11	62	76	22	48	30	21	301

*日本臓器移植ネットワークからの報告

イ 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

広島県臓器移植コーディネーターが臓器提供施設等を定期的に訪問し、ドナー情報の収集を図り、具体的な臓器提供情報を得た際には提供に向けての必要な対応に従事した。

i 訪問施設 25施設

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、JA 広島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、三次中央病院、東広島医療センター、安佐市民病院、梶川病院、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院、JA 尾道総合病院、尾道市民病院、呉共済病院、福山市民病院、大田記念病院、興生総合病院、寺岡記念病院、荒木脳神経外科病院、一ノ瀬病院、五日市記念病院、土谷総合病院、山田記念病院、稲垣胃腸科外科クリニック

- ii 訪問総数 45回
- iii 情報提供数 7件
- iv 臓器提供数(献腎を含む) 1件
- v 献腎移植 1件

ウ 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

- | | |
|-----------------------------------|----|
| i 広島県臓器提供施設協議会(10/26) | 1回 |
| ii 院内コーディネーター研修会(6/27・10/26・3/10) | 3回 |
| iii 臓器提供施設事務担当者研修会(東部) | 1回 |
| iv 院内研修会(広島市民病院) | 1回 |
| v 臓器移植推進委員会(1/22) | 1回 |

エ 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動

- i 院内研修会・勉強会への支援・協力
- ii 臓器提供マニュアル作成、臓器提供シミュレーション実施への協力
- iii 病院機能評価に係る臓器提供に関する説明 ほか

オ コーディネーター研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが(公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会、学会等に参加し、最新の移植情報の収集と資質の向上に努めた。

- | | |
|--------------------------------|----|
| i 日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会(東京) | 5回 |
| ii 中国四国コーディネーター会議(大阪・出雲・高松・岡山) | 4回 |
| iii 中国四国臨床臓器移植研究会(出雲) | 1回 |
| iv 5類型臓器提供施設研修会(大阪) | 1回 |
| v JATCO総合研修(東京) | 1回 |
| vi 日本脳蘇生学会 脳死判定セミナー(東京) | 1回 |
| vii 日本臓器保存生物医学会 院内C o研修会(東京) | 1回 |
| viii 岡山県臓器移植WG会議(岡山) | 1回 |

カ 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

県内で臓器提供事例が発生した場合には、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、(公社)日本臓器移植ネットワークの指導のもと、円滑な提供に資するため、次のような業務に従事した。

- i 臓器提供可能家族への移植医療の意義等についての説明に従事
- ii 院外の摘出チーム及び移植チーム、県警等との調整に従事
- iii 摘出臓器の搬送業務に従事
- iv 臓器提供に協力した施設及びドナー家族への事後報告及び移植者の経過報告等の実施

キ 腎移植希望者の登録及び更新受付業務への協力

献腎移植希望者の登録等については、(公社)日本臓器移植ネットワークにおいて行うこととされているが、当バンクとしても広島県臓器移植コーディネーターの業務の中で必要な協力を行った。

2) 移植医療機関及び摘出協力医との連絡調整に関する事業(定款第4条第5号)

広島県臓器移植コーディネーター、骨髄説明員及び事務職員が個別に移植医療機関或いは摘出協力医師等との連絡調整を行った。

- (1) 角膜移植希望者の登録に関する打ち合わせ
- (2) 献眼の推進に関する打合せ
- (3) 臓器移植推進の一般啓発に関する打ち合わせ
- (4) 臓器提供施設への移植医療推進のための打合せ
- (5) 臓器搬送(消防・警察・広島県)に関する打合せ
- (6) 骨髄ドナー登録に関する打合せ